

2024 年 8 月 22 日
イプソス株式会社

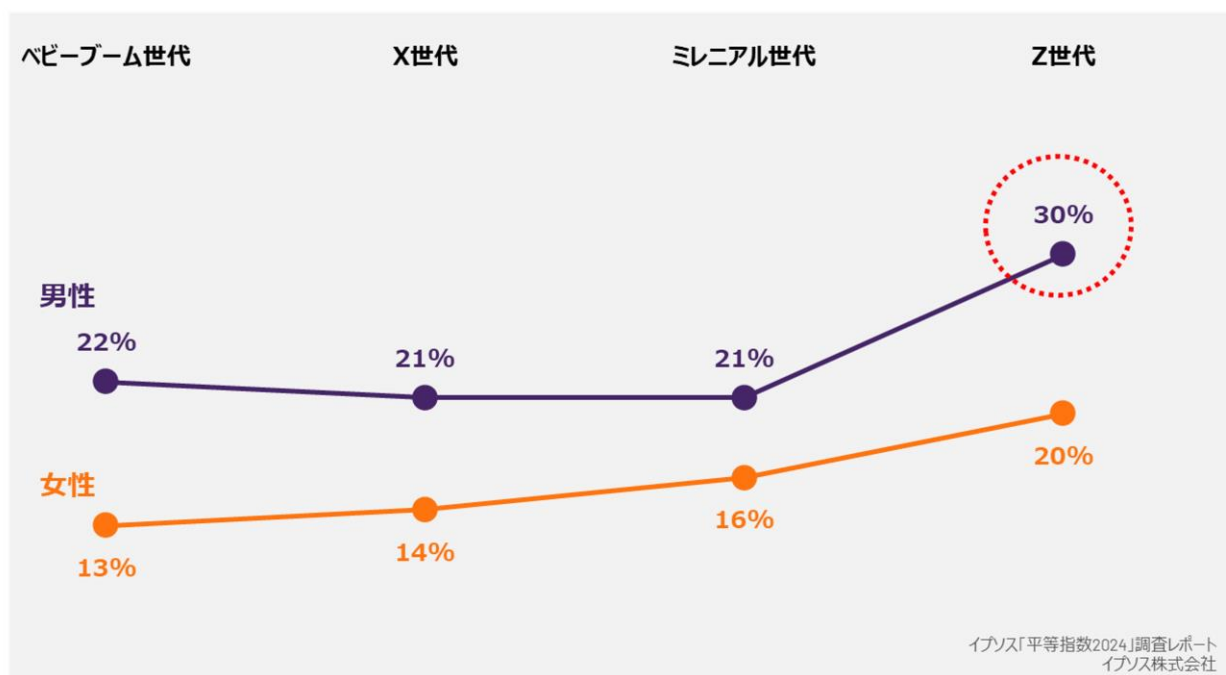
イプソス「平等指数 2024」調査レポート

Z 世代男性“平等”への取組みは「やり過ぎ」、女性は差別に敏感

平等の取組みで不利益を感じる Z 世代男性は他世代の男性の約 1.5 倍

世界最大規模の世論調査会社イプソス株式会社（日本オフィス所在地：東京都港区、代表取締役：内田俊一）は、日本を含む世界 29 カ国 21,759 人を対象に“平等・不平等”に関する意識調査を実施しました（イプソス「平等指数 2024」）。調査の結果、日本の Z 世代の男性は、自国の平等に関する取組みは「やり過ぎだ」と考えている人が多いことがわかりました。また、Z 世代の女性は同世代の男性よりも LGBTQ やニューロダイバーシティを持つ人々に対する差別に敏感であり、同世代間で意識の違いがあることが明らかになりました。

平等を推進する試みは、「やり過ぎだ」と回答した日本人の割合



【グラフ①】

【世代区分（生まれ年）】Z 世代：1996 年から 2012 年、ミレニアル世代：1980 年から 1995 年、X 世代：1966 年から 1979 年、ベビーブーム世代：1945 年から 1965 年

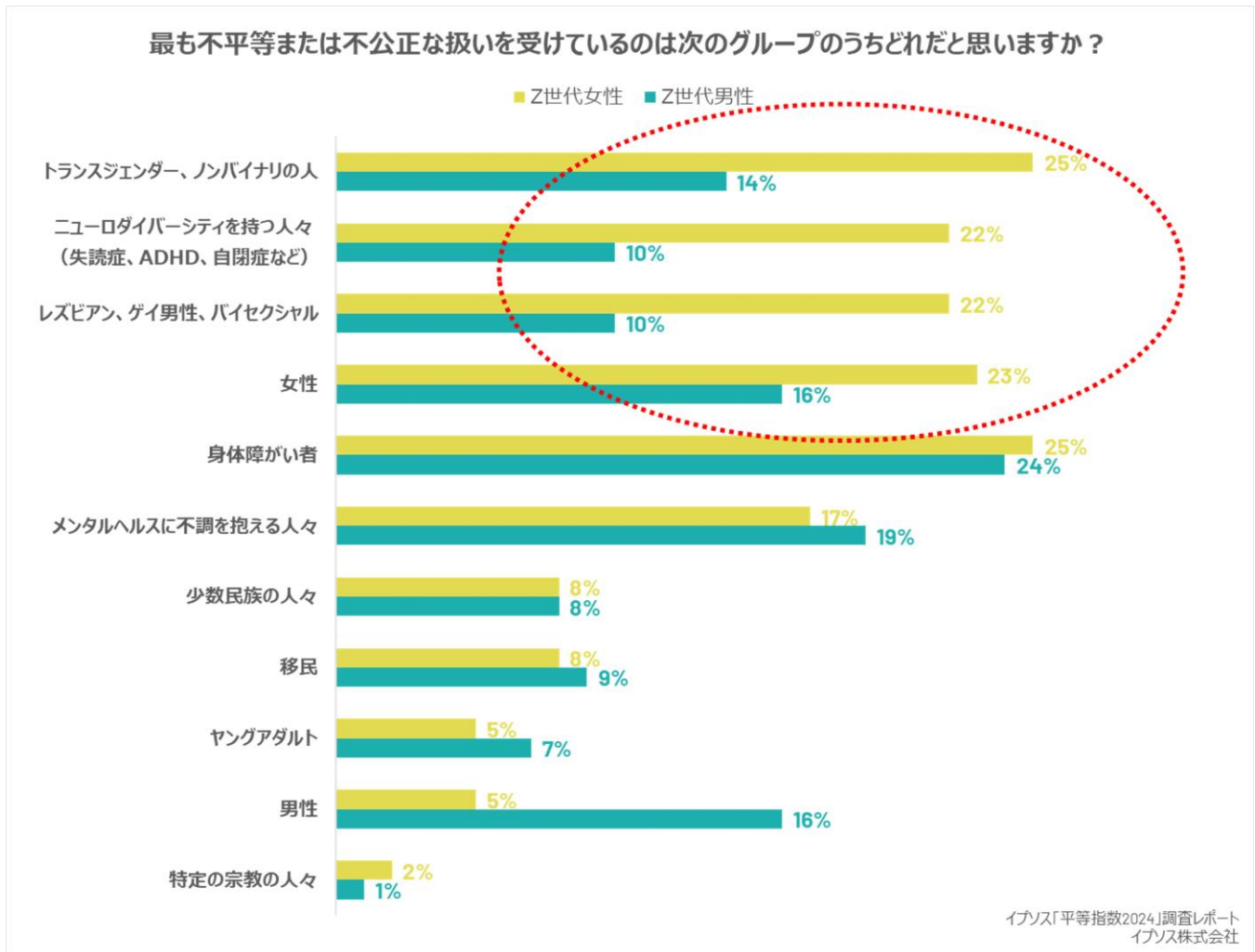
【調査結果】

■ 日本の Z 世代の男性は日本の平等への取組みは「やり過ぎだ」と感じている（グラフ①）

Z 世代の男性は、他の世代や同世代の女性と比較して、自国の“平等”への取組みは、「やり過ぎだ」と感じている人が多いことがわかりました。これはグローバルでも同様の傾向が見られました。平等への取組みにより、何かしらの不利益を感じていることがわかります。

■LGBTQ やニューロダイバーシティを持つ人々に対する“平等・不平等”、意識している Z 世代女性は Z 世代男性の約 2 倍（グラフ②）

「最も不平等または不公正な扱いを受けているグループはどれだと思いますか？」という問いに対し、トランスジェンダーやレズビアン、ゲイ、バイセクシャルなどの LGBTQ やニューロダイバーシティのグループが該当すると回答した Z 世代女性は、Z 世代男性の約 2 倍にのぼり、差別に対する意識の違いが明らかになりました。

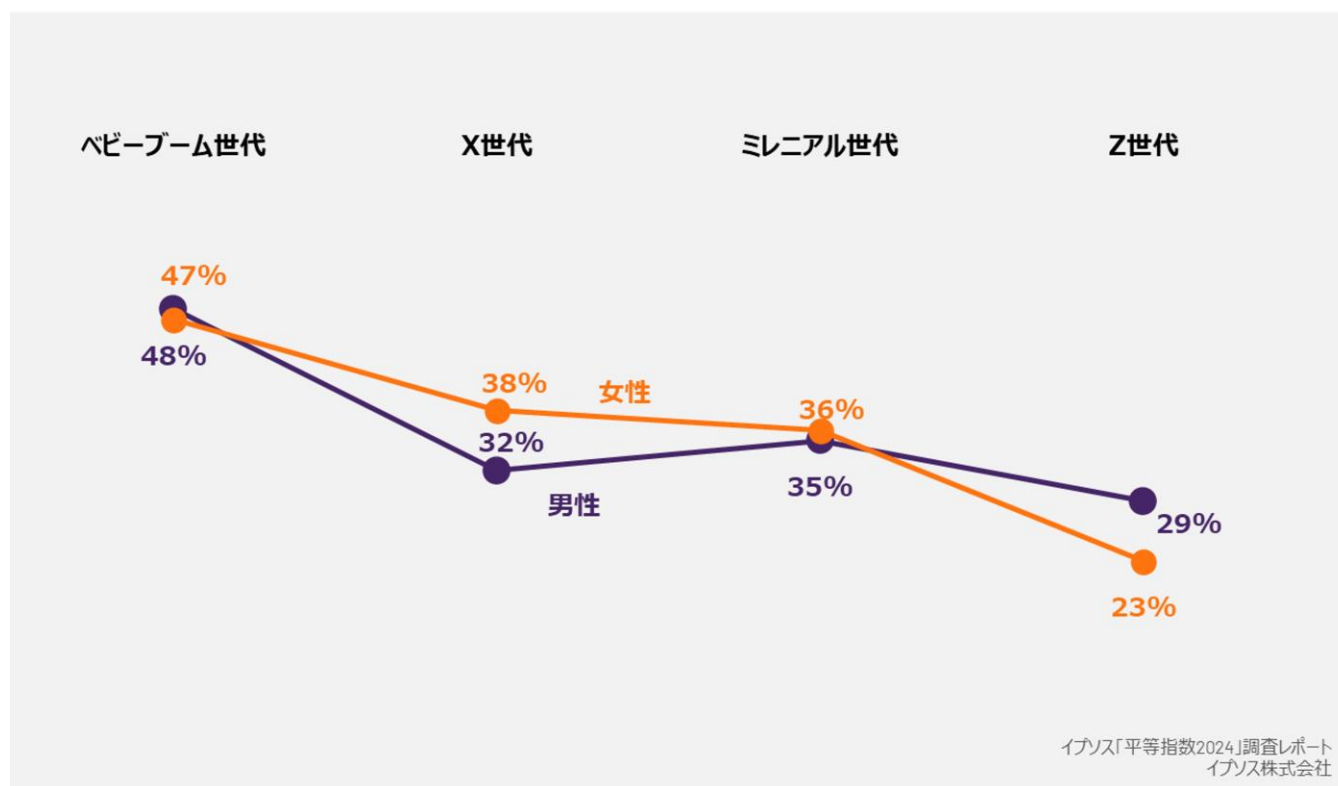


【グラフ②】

■「人の成功の可能性は“その人自身の強みと努力”で決まる」と考える Z 世代はベビーブーム世代の約半数（グラフ③）

ベビーブーム世代の 50% 近くが、人の成功の可能性は「その人自身の強みと努力で決まる」と回答しているのに対し、Z 世代は男性も女性も 30% 以下と、世代間による考え方の違いが明らかになりました。また、Z 世代では男性よりも女性の方が、成功の可能性は自身の力ではなく環境など外的要因により左右され则认为ていることがわかりました。

人の成功の可能性は「その人自身の強みと努力」で決まると回答した人の割合



【グラフ③】

【世代区分（生まれ年）】Z世代：1996年から2012年、ミレニアル世代：1980年から1995年、X世代：1966年から1979年、ベビーブーム世代：1945年から1965年

今回の調査結果について、イプソス株式会社代表取締役社長の内田俊一は以下のように述べています。

「Z世代男性の『平等の取組みはやり過ぎだ』という回答が多いこと背景には、マジョリティーもマイノリティーも関係なく平等に機会を有することができる社会が構築されようとする中で育ち、その中で逆差別と感じられるようなことがあったのではと想像します。Z世代がその前の世代ほど、自分たちの実力や努力があれば平等に成功できると前向きに思えないという傾向は、世界でも同様の傾向が見られます。平等が促進され機会が広がったとしても上の世代と同様の恩恵は得られないと感じているのではないのでしょうか。本調査は今後も継続的に実施していきます。どのような変化が見られるのかはまたお知らせしていきます」

調査レポート詳細はこちらをご覧ください。

【イプソス「平等指数 2024」調査レポート（日本語）】

https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/news/documents/2024-08/IEI_2024_Global-Charts-ja.pdf

【グローバルサイト（英語）】

<https://www.ipsos.com/en/ipsos-equalities-index-2024-more-quarter-gen-z-men-think-efforts-promote-equality-have-gone-too-far>

【プレスルーム】

<https://www.ipsos.com/ja-jp/pressroom>

【調査背景】

イプソスでは世界の人々の「社会における平等」に関する意識や行動、またその変化の動向を観測し、理解するための調査を継続的に行っています。

【調査概要】

調査方法：イプソス グローバルアドバイザー調査プラットフォーム、IndiaBus プラットフォームを使用したオンライン調査

調査対象：世界 29 カ国 21,759 人

インドの 18 歳以上、カナダ、アイルランド共和国、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の 18～74 歳、タイの 20～74 歳、インドネシアとシンガポールの 21～74 歳、その他の国の 16～74 歳の成人

実施日：2024 年 2 月 23 日（金）から 3 月 8 日（金）

調査機関：イプソス

【イプソスについて】

イプソスは、世界最大規模の世論調査会社であり、90 の市場で事業を展開し、18,000 人以上の従業員を擁しています。

1975 年にフランスで設立されたイプソスは、1999 年 7 月 1 日からユーロネクスト・パリに上場しています。同社は SBF120 および Mid-60 指数の一部であり、繰延決済サービス（SRD）の対象となっています。

ISIN コード FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg IPS:FP www.ipsos.com

【会社概要】

会社名：イプソス株式会社

所在地：東京オフィス 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル

代表者：代表取締役 内田 俊一

事業内容：世論調査並びに各種市場調査の調査企画立案、実査、集計、分析、レポートニングに関する全てのサービス

HP：<https://www.ipsos.com/ja-jp>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

イプソス株式会社 PR サポートチーム

TEL：070-3875-5300、Mail: ipsos_pr@world.zaq.jp